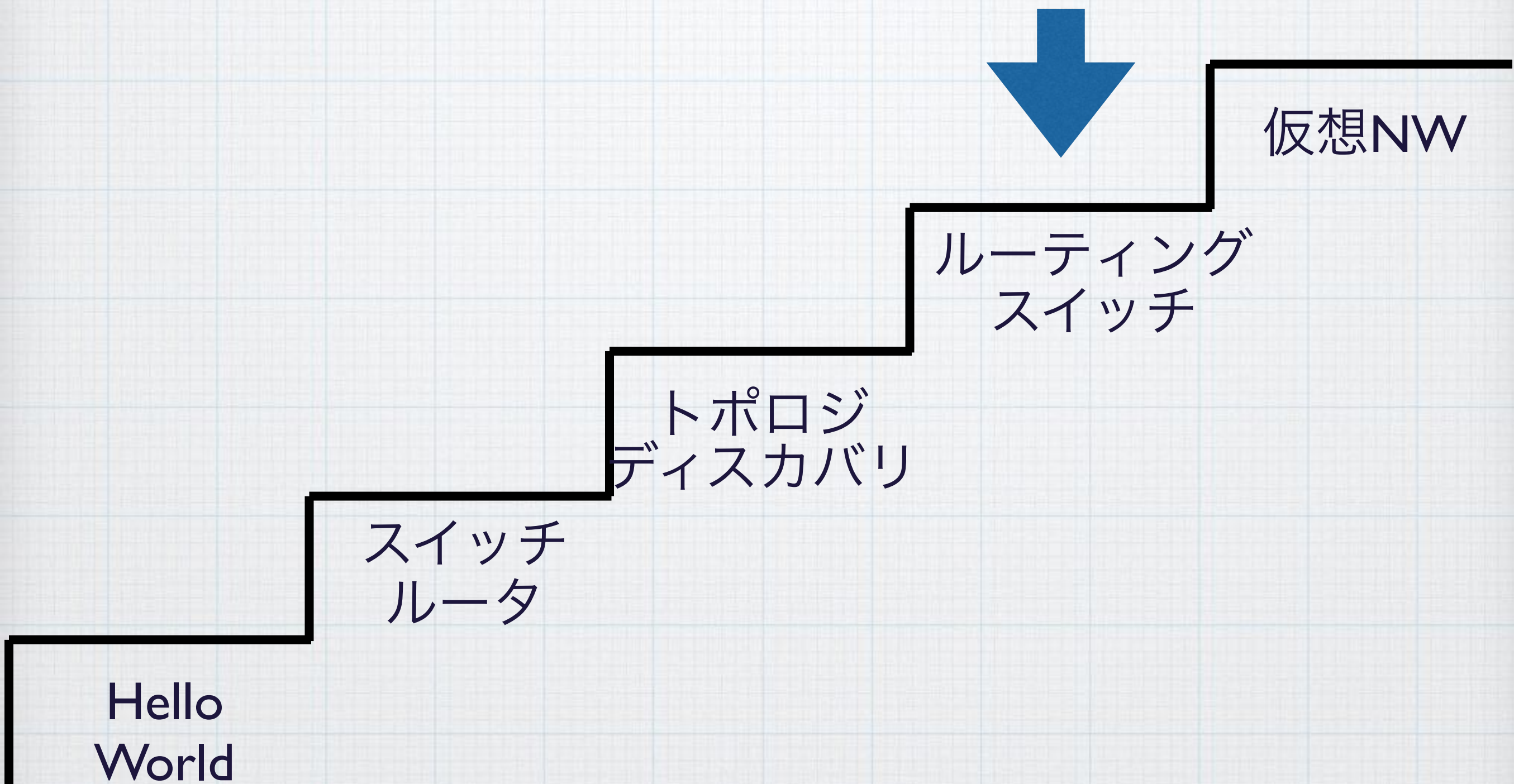
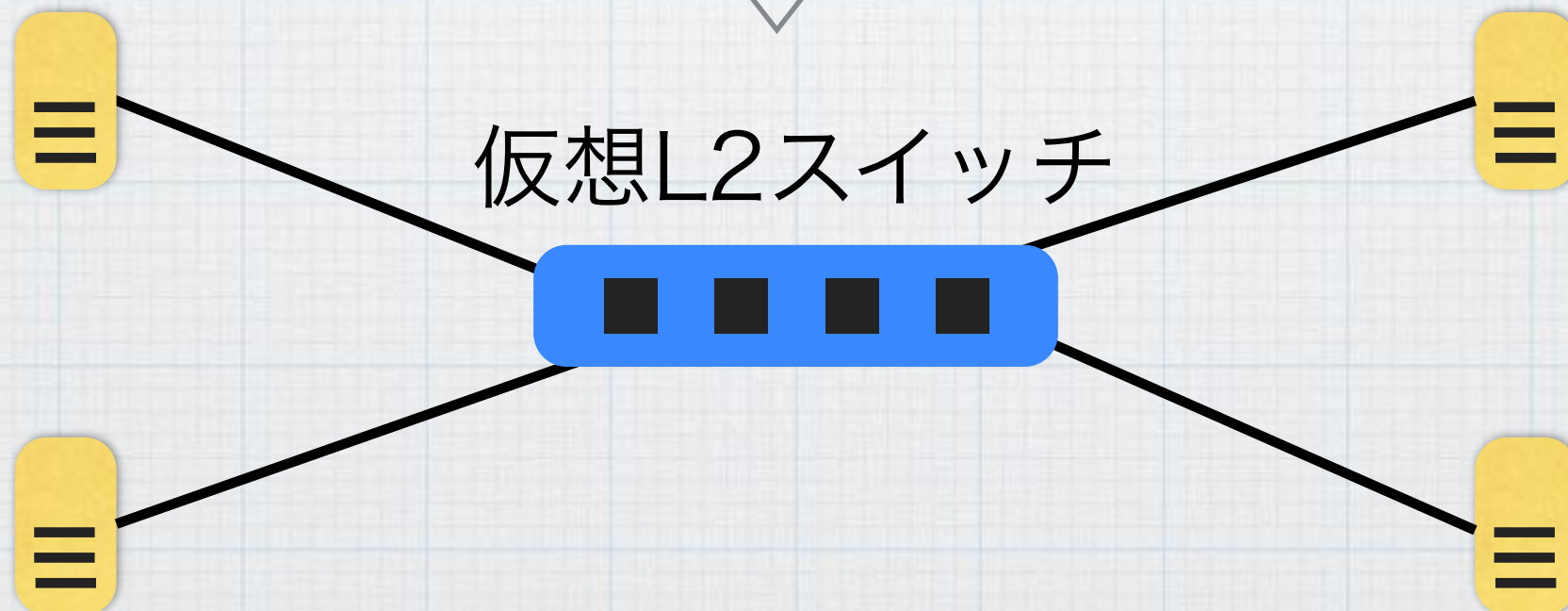
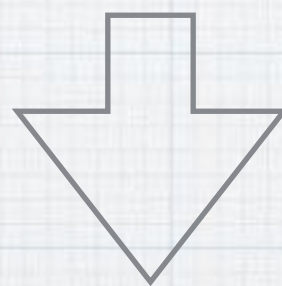
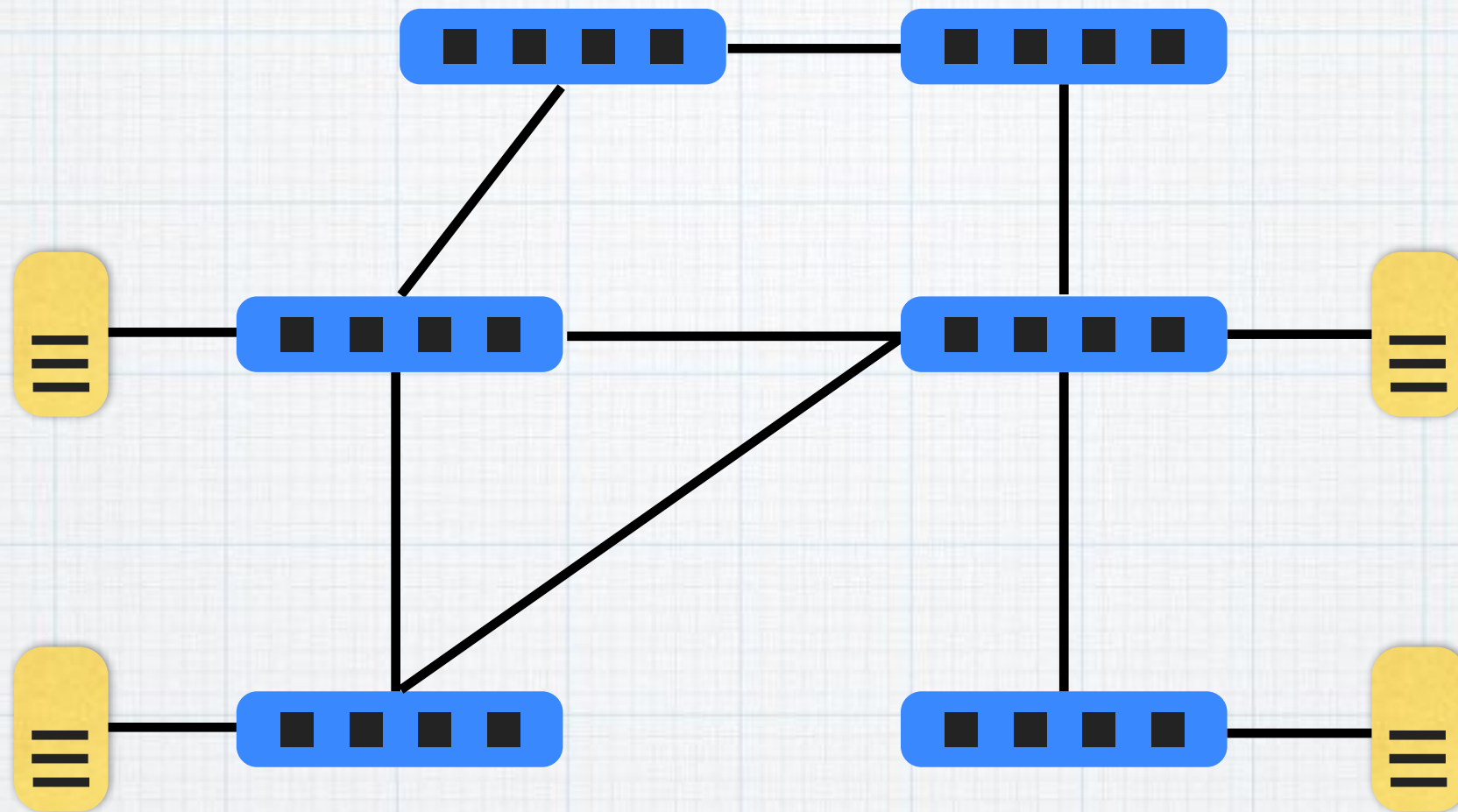


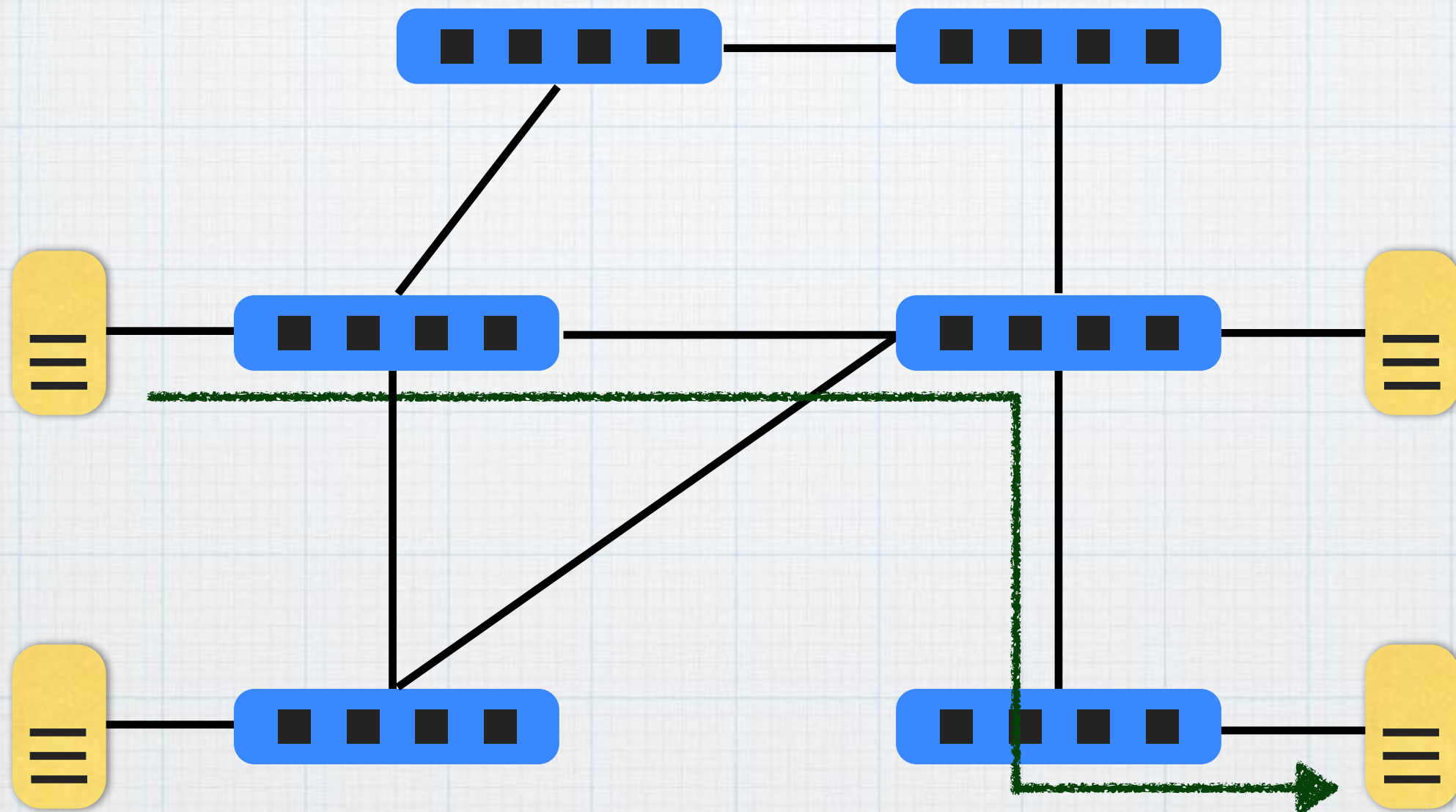
たくさんのスイッチを
制御する

高宮安仁 @yasuhito





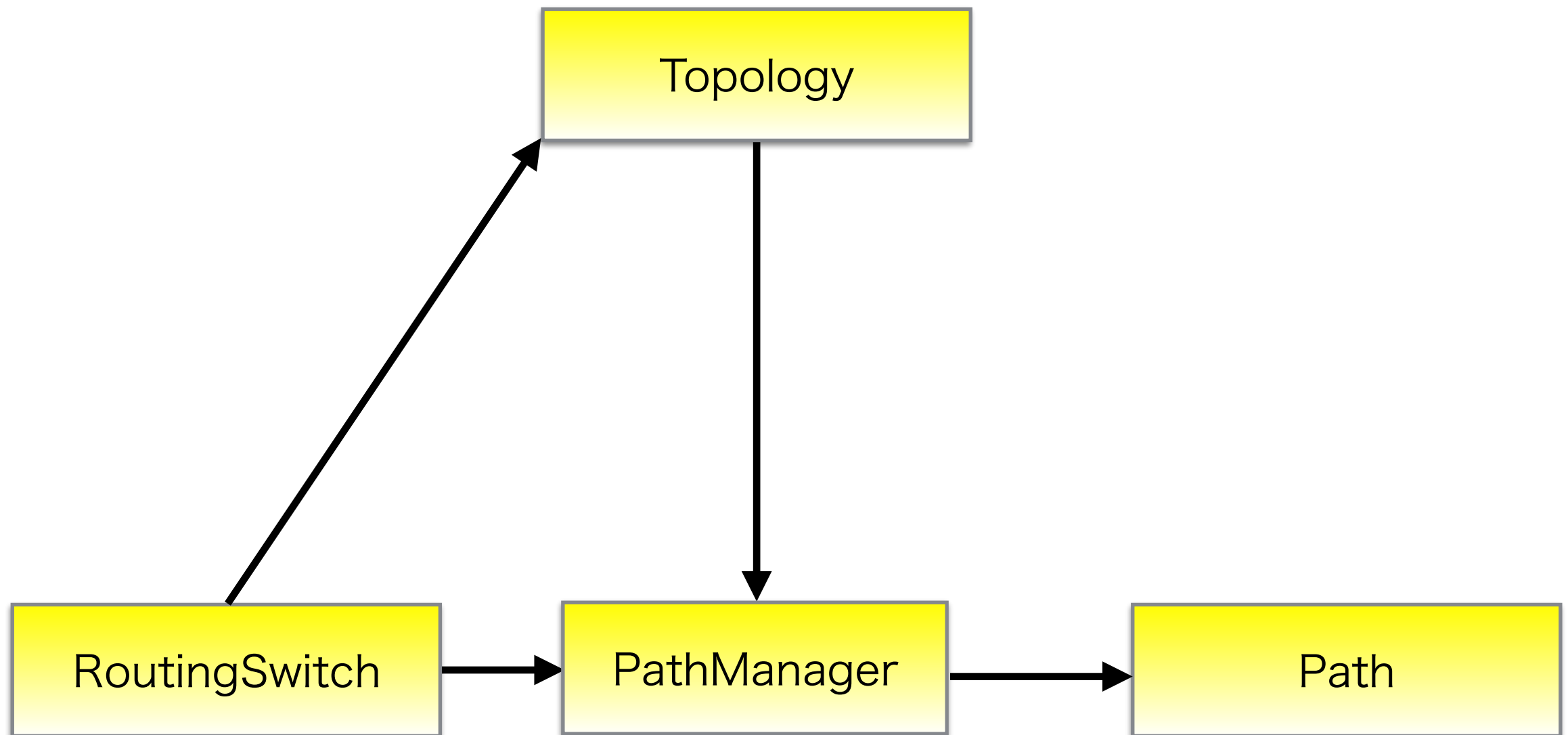
ルーティングの仕組み



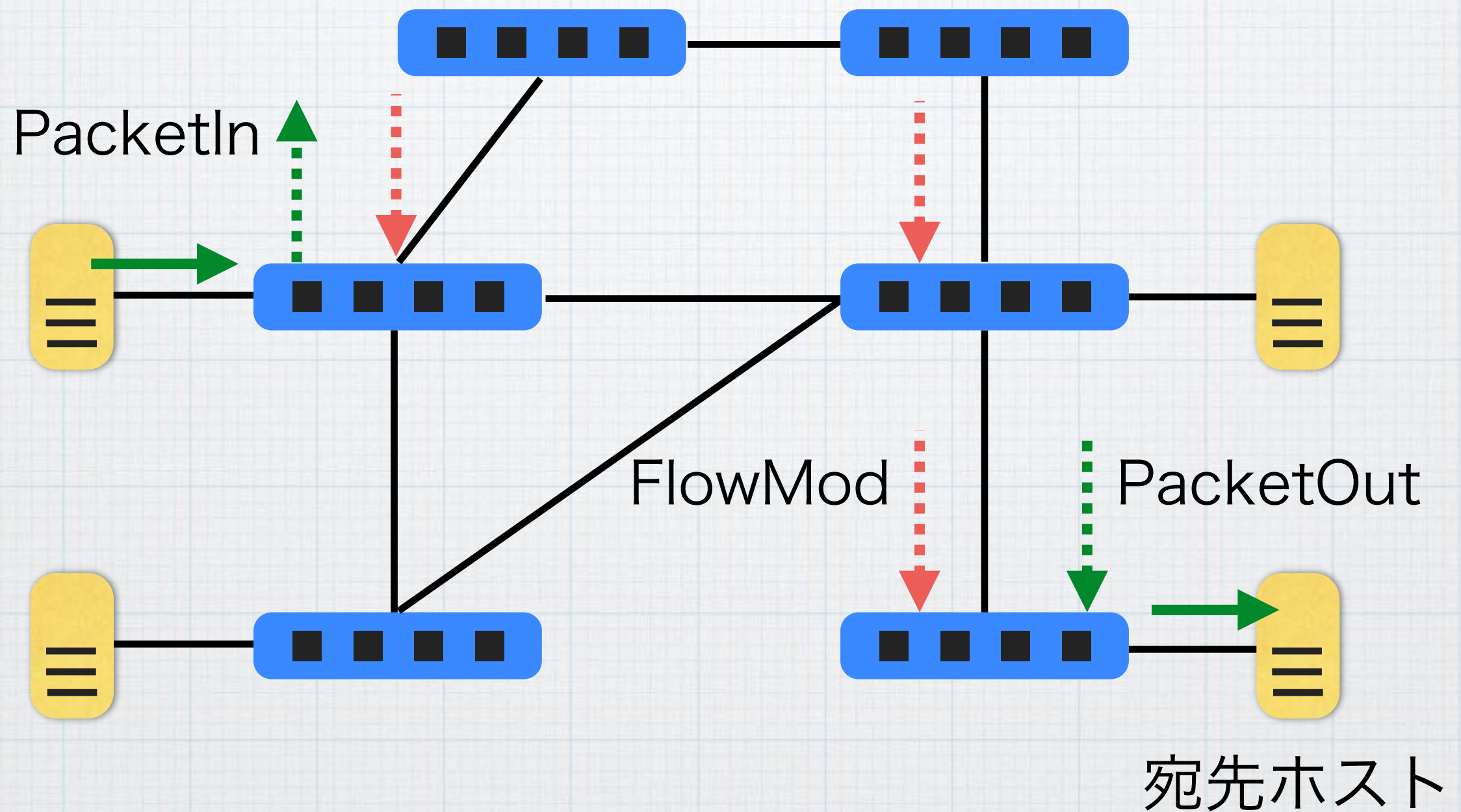
どう書く？ コントローラ

- ・ スイッチとの接続
- ・ トポロジ探索
- ・ 最短路
- ・ フローエントリの管理

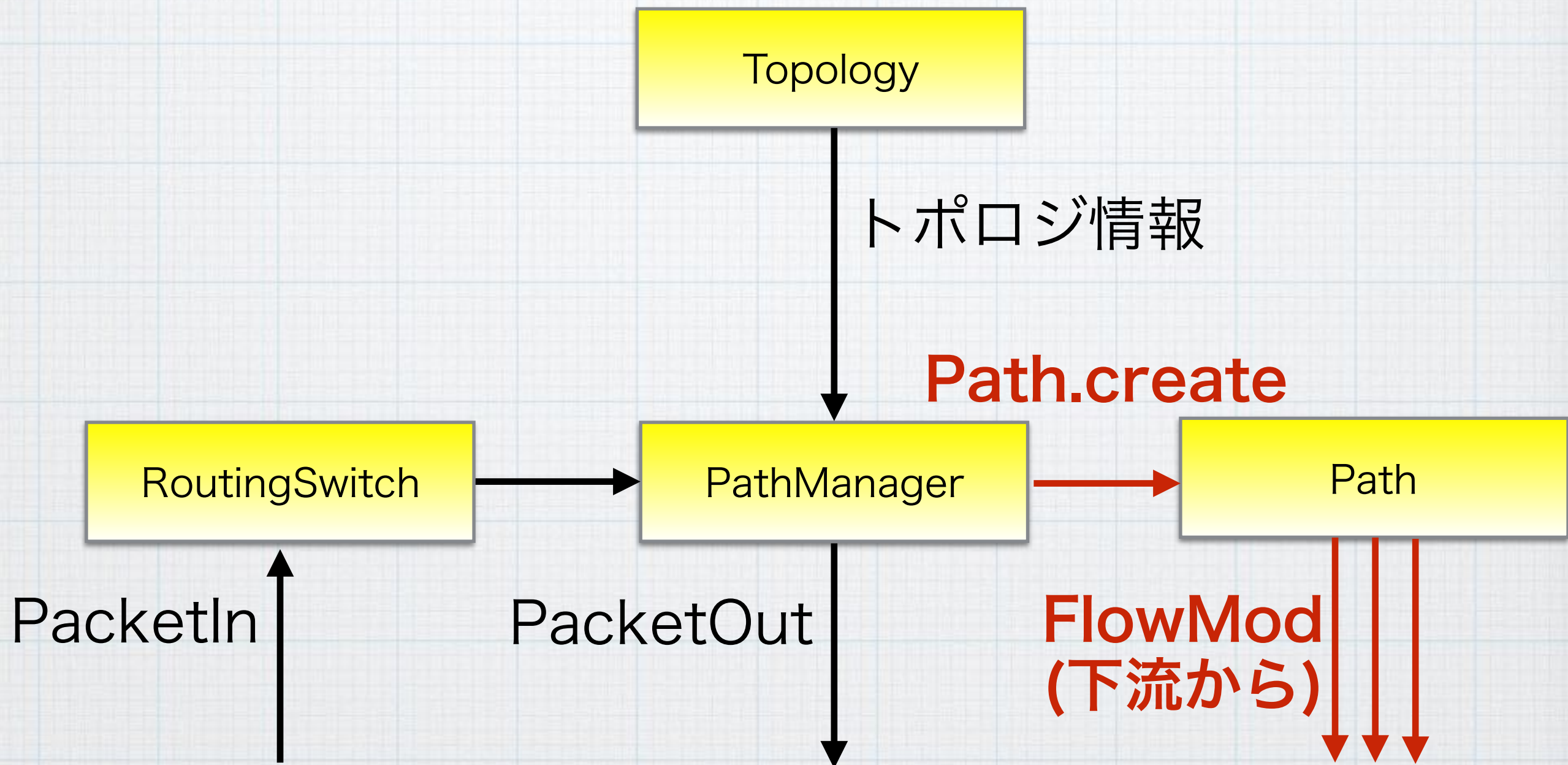
小さなクラスに分ける!



パケットを送信すると...



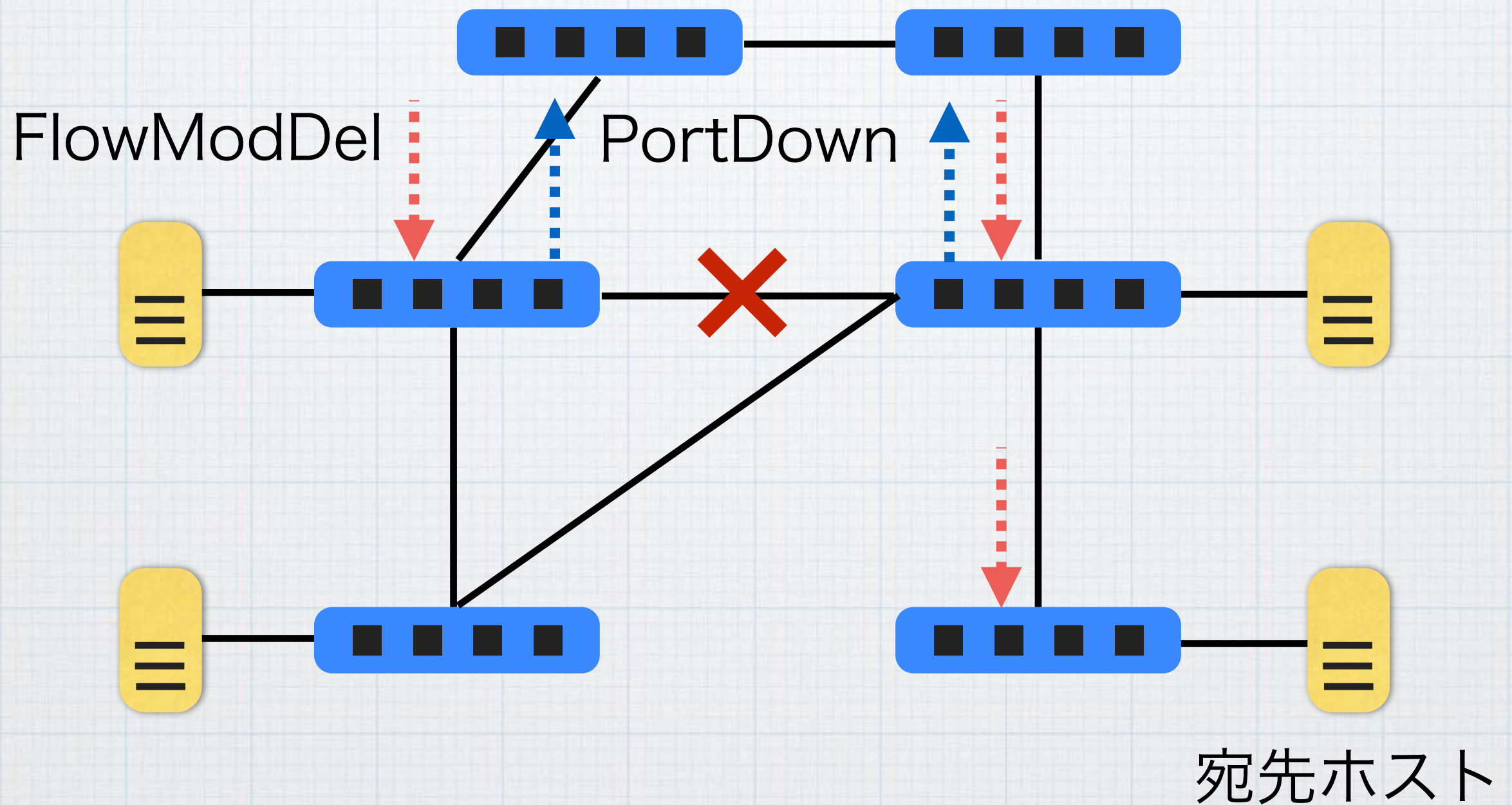
最短路パスを作る



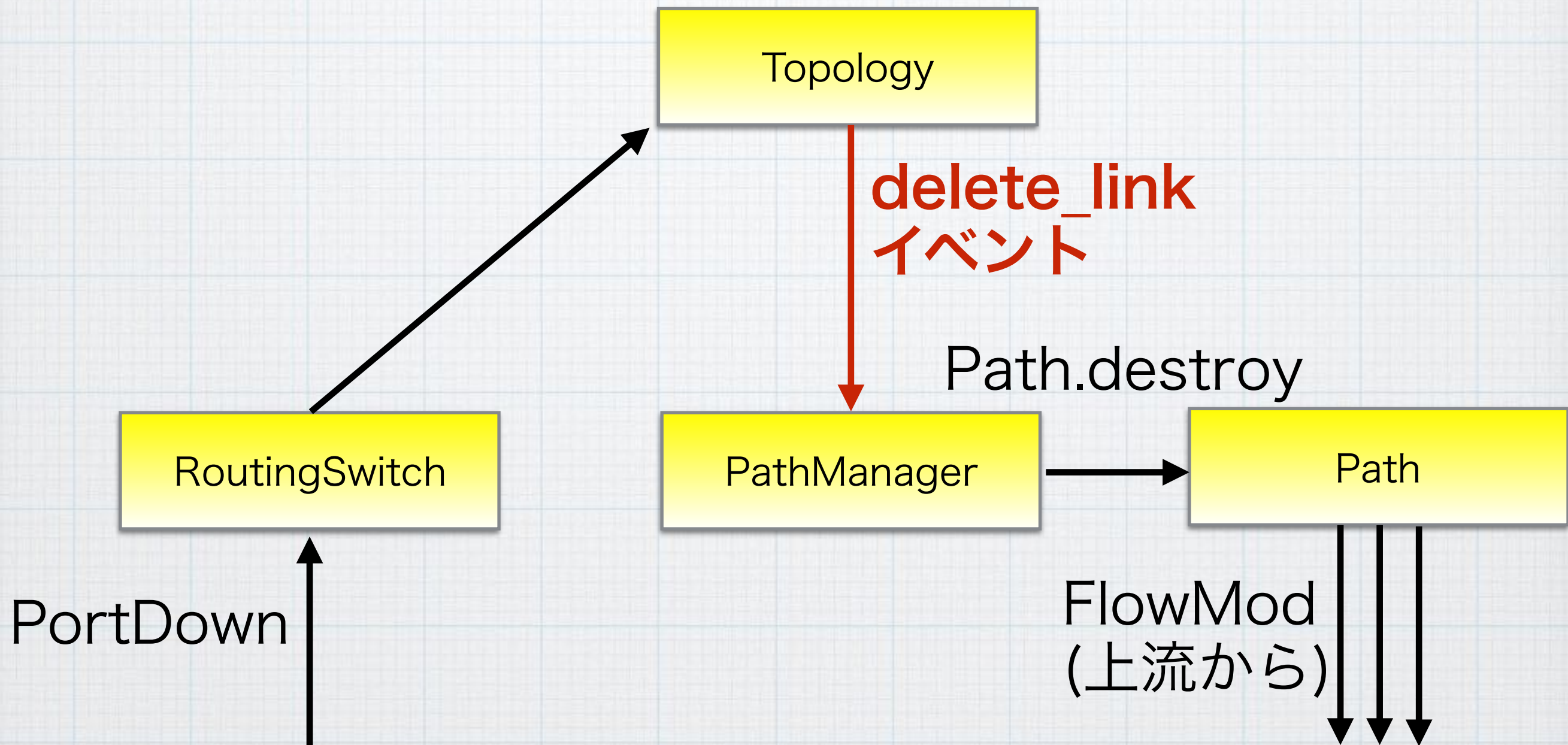
処理のカプセル化

- `Path.create(path, packet_in)`
パスに沿って下流からFlowModAdd
- `Path.destroy(path)`
パスに沿って上流からFlowModDel
- `Path.select do |each|
 each.link?(port_a, port_b)
end.each(&:destroy)`
ポートa⇔ポートbのリンクをすべて消す

リンクが切れたら...



無効なパスを消す



オブザーバパターン

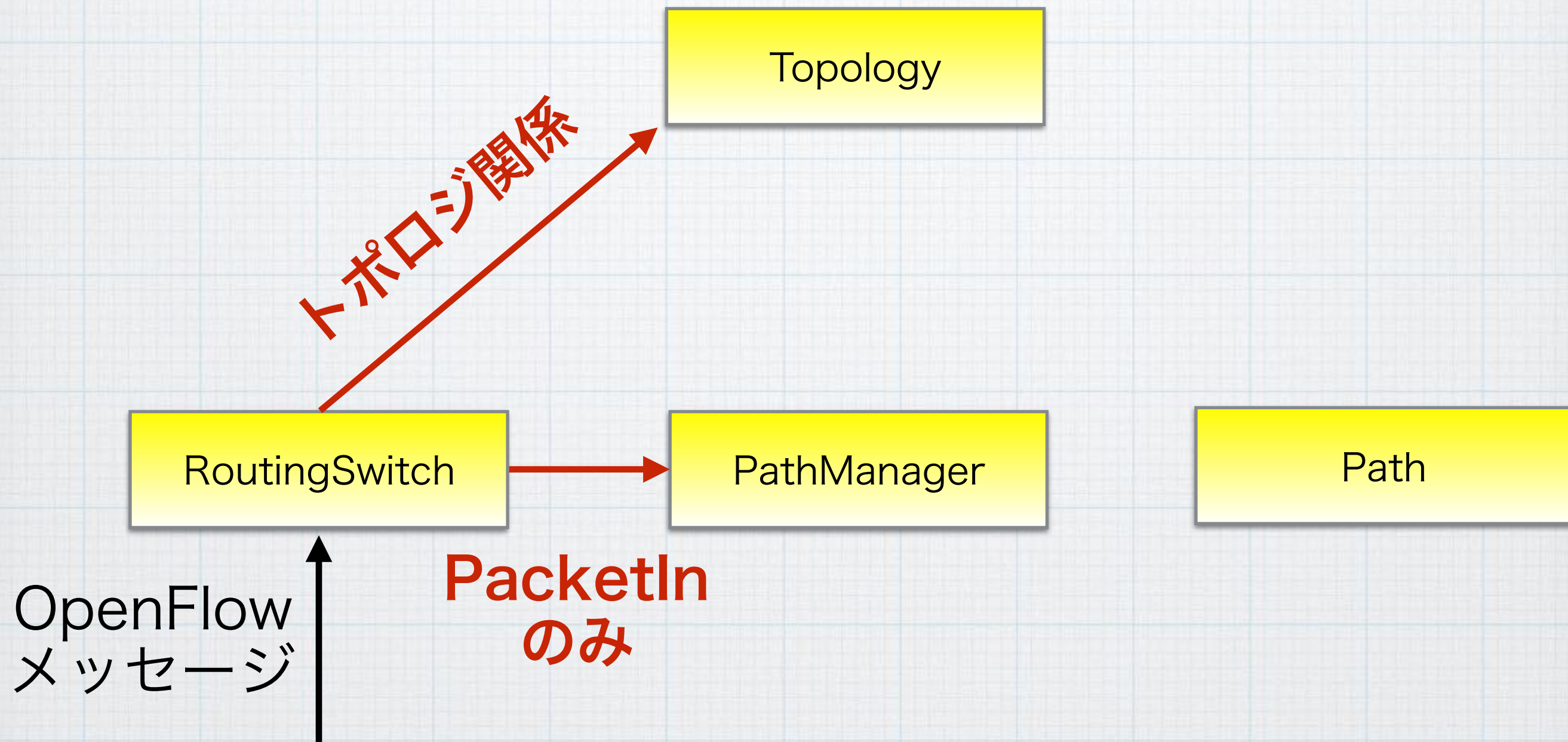
トポロジイベントをPathManagerへ

```
class RoutingSwitch < Trema::Controller
  # ...
  def start_topology
    TopologyController.new { |topo| topo.add_observer @path_manager }.start
  end
end
```

イベントハンドラでパスを消す

```
class PathManager < Trema::Controller
  # ...
  def delete_link(port_a, port_b, _topology)
    @graph.delete_link port_a, port_b
    Path.select { |each| each.link?(port_a, port_b) }.each(&:destroy)
  end
end
```


メッセージの振り分け



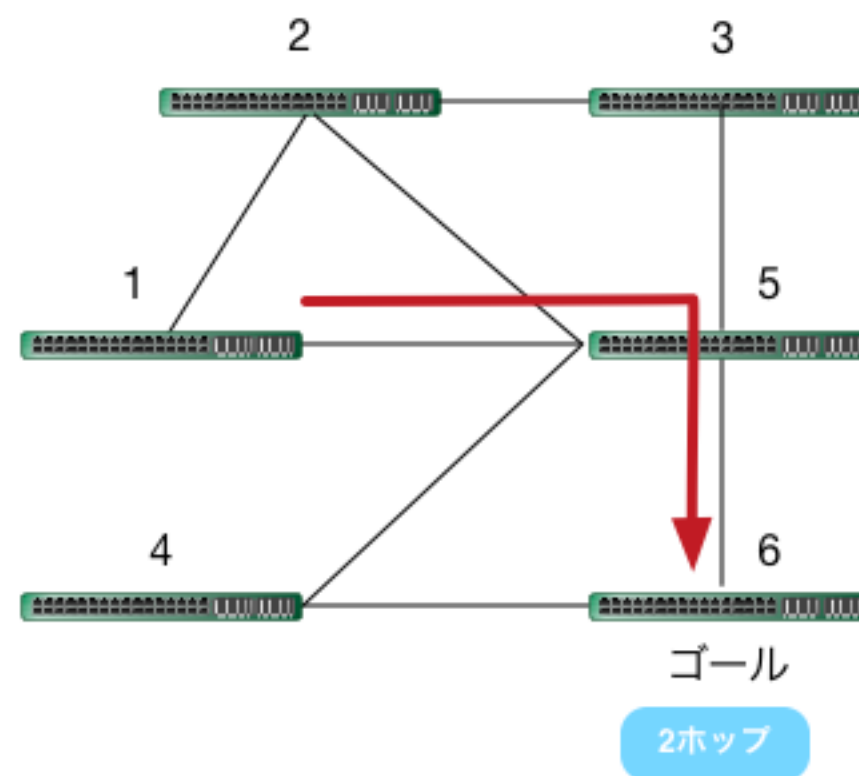
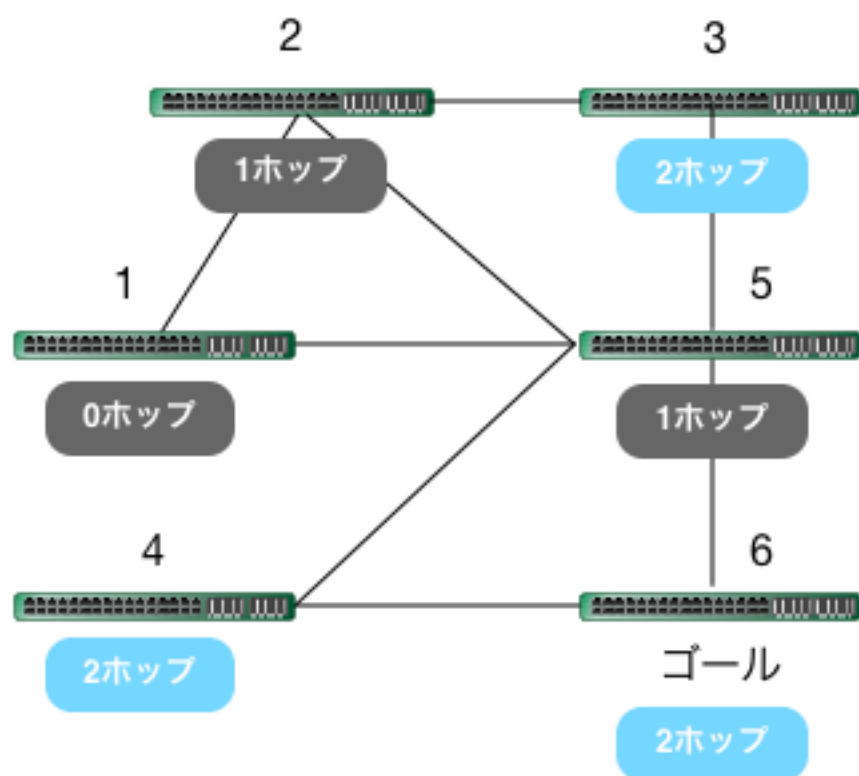
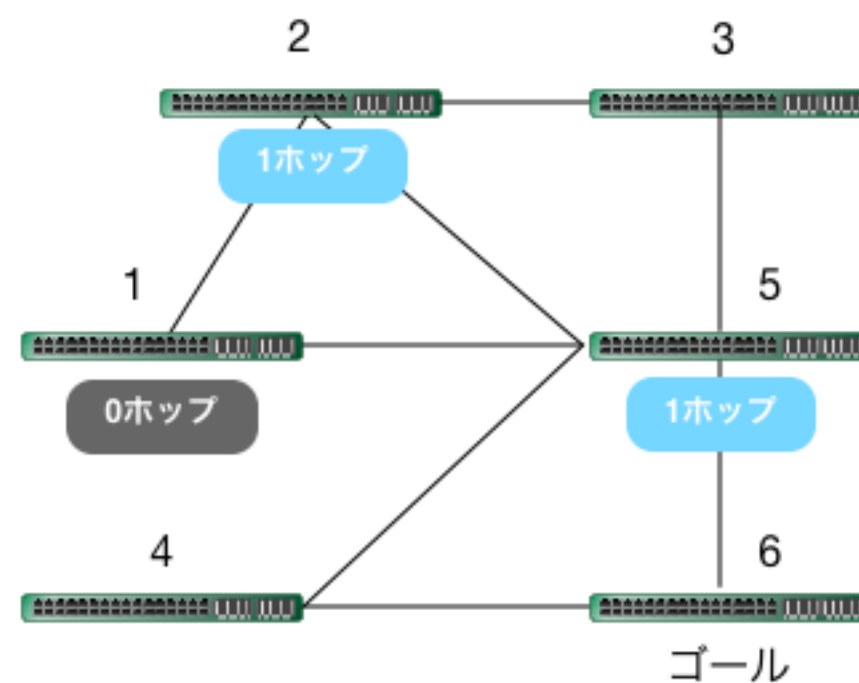
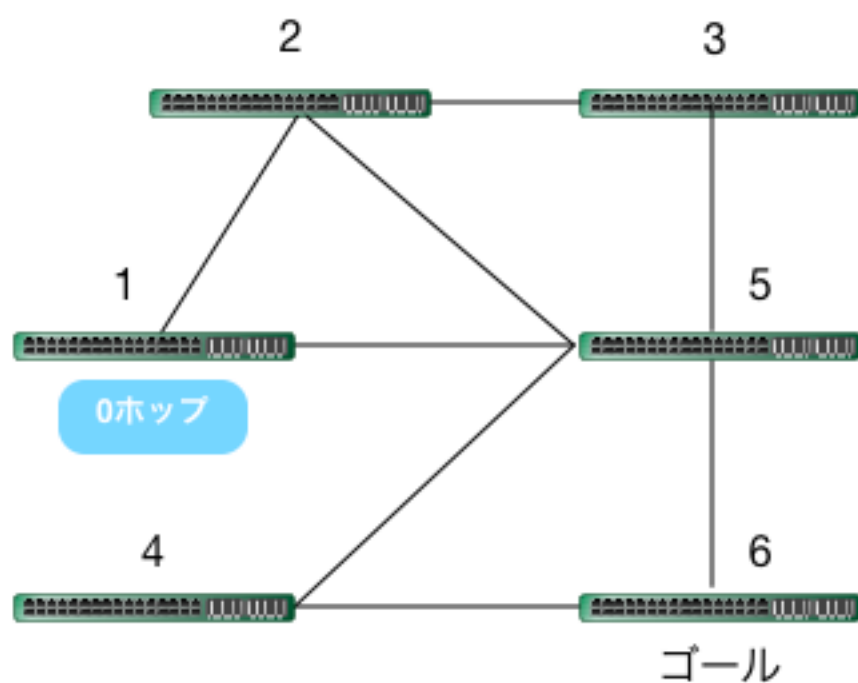
ハンドラの委譲

トポロジ関連メッセージ→Topologyへ

```
class RoutingSwitch < Trema::Controller
  delegate :switch_ready, to: :@topology
  delegate :features_reply, to: :@topology
  delegate :switch_disconnected, to: :@topology
  delegate :port_modify, to: :@topology
end
```

PacketIn→TopologyとPathManagerへ

```
def packet_in(dpid, packet_in)
  @topology.packet_in(dpid, packet_in)
  @path_manager.packet_in(dpid, packet_in) unless packet_in.lldp?
end
```

まとめ

- ・ 小さいクラスを組み合わせよう
- ・ 部品 (トポロジ) の再利用
- ・ コードの見通しを良くする
- ・ 必要なのはOOPの基本テク
 - ・ カプセル化、委譲など